令和４年度沖縄空手会館に係る指定管理者制度運用委員会
－指定管理者制度モニタリング検証結果－

１　日　時：令和４年７月26日（火）　10時00分～12時00分

２　場　所：沖縄空手会館　会議室

３　出席者：４人出席（定員４人）
【委 員 長】沖縄空手研究所 所長　嘉手苅　徹
【 委　員 】元沖縄県立博物館・美術館館長　安里　進
【 委　員 】税理士法人添石綜合会計事務所副所長　添石　理佐
【 委　員 】公益社団法人沖縄県建築士会副会長　伊佐　強

４　審議概要：
⑴　令和３年度モニタリング実施結果
⑵　審議の流れ：①県からモニタリング実施結果の説明及び委員からの質疑応答
②県に対する委員からの改善提案等

５　モニタリング実施結果の概要：
①　維持管理業務（清掃、保守点検等）は適切に実施されている。引き続き、安全・安心に利用できるよう施設の適切な維持管理に努める。
②　運営業務については、感染症対策のガイドラインの変化に柔軟に対応し、施設利用の活発化、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえたアフターフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組む。
　自主事業（レストラン・売店事業など）については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組み、利用者の利便性の向上に取り組む。
③　サービスの質の評価について、アンケート結果によると施設を利用した感想や利用手続きにかかる満足度が高い。設備・備品の充実度など、利用者の要望を踏まえた改善を図り、利便性の向上に取り組む。引き続き、アンケートを実施し、ニーズの把握に努める。
④　サービスの安定性評価（財務状況）については、新型コロナウイルス感染症による閉館措置などの影響がある中でも、自主事業の活発化や雇用調整助成金の活用など、収支改善に創意工夫した結果、事業収支バランスが前年度より大幅に改善した。今後も事業全体として収支均衡に向けた取組を図り、収支改善に努める。

６　委員からの主な意見：
・利用者数や利用料金収入の推移計画は青天井の希望的観測に陥らないように注意し、施設のリソースやキャパシティを考慮し適正値の把握に努めること。

・清潔に保たれており、材木への素材のこだわりなどもあり気持ちの良い施設。
・新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも、自主事業の工夫や助成金の活用など経営努力が見られる。今後も、収支改善の取組を継続していただきたい。
・今後、施設運用年数が経過するにつれて大規模修繕の必要が出てくることが考えられるため、施設設備の状況の把握に努め、修繕予算の確保はしっかり行って備えた方がよい。